

令和7年度議会報告会(意見交換会)における発言内容報告書

開催地区: 鳳来東部地区 開催日時: 令和7年7月8日(火) 午後7時00分 ~ 午後8時30分 開催場所: 鳳来中央集会所 担当議員: 6名(丸山隆弘、村田康助、柴田賢治郎、竹下修平、小林秀徳、カークランド陽子) 参加人数: 男性7名 女性2名 計9名	報告者
	柴田賢治郎

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの ※対応 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③その他(備考に内容記入)

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			備 考 (キーワード)
			分類	番号	担当	
1	行政視察について、厚生文教は9人で行ったのか。テーマ決めでどの様にしたか。	委員会全員9名で行ってきた。議会しんしろでお見せする機会もあるかと思う。テーマはそれぞれの委員会で決めてそれに沿う研修先を策定し実施した。	●	①	丸山隆弘	委員会行政視察
2	政務活動費を使わう人、使わない人がいるが、使わない人の費用を他の予算に割り当てて欲しい。	現在でも、使わない人は返還している。その上で、予算を作る時期と、予算を使う時期が違う為、現行の通りやらざる得ない状況がある。	●	①	竹下修平	政務活動費
3	新城では、合併当初、5万3千におられた人口が、4万2千人に減っている。人口減少が起きているが、市としての対応が見えない。どの様に対策をしているか。	愛知県でも人口減少が始まっている。その様な中で、インフラの整備をし企業を呼ぶ努力を続けることが必要。八名地区にスマートインター、23号線も、151バイパスのインフラ整備も始まっている。三遠南信道路も延伸していくし、八束穂の企業団地用地も整いつつある。インフラをしっかり整備していく。	○	①	小林秀徳	人口対策
4	1億2千万の人口を保とうとしてるのか。多すぎないか。労働力無いので外国人政策をとる必要があるのか。	意見として承る。	○	②	—	ご意見

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			備 考 (キーワード)
			分類	番号	担当	
5	新しい設備を整えるより、現状維持に予算が回っていないのではないか。水道設備や道路崩壊に対して、予算を蓄えておく必要があるのではないか。長篠橋など問題があるのではないか。	戦後から3倍増えた日本の総人口は減ってもよいと思っているが、都市に集中している一極集中は是正する必要がある。新城としては都市型を追従するのではなく、地域型の魅力を発信する必要があるが、できていないと感じる。インフラの整備、作るほうは国債を発行して賄えるが、直すほうは法律が追い付いていない、その事の制度変更は必要。	○	①	カークランド陽子	インフラ整備
		立地適正化計画の見直し、どこを生活圏にするのか。コンパクトシティにネットワークを充実させ、切り捨てることなく、活動を維持していくには、それぞれの地域の合意形成を得る必要がある。			竹下修平	
		長篠橋に関しては、昨年、国庫予算で調査をさせてもらった。5月終わりにやっと出てきたものを見て、改めて非常に危険な状態を確認できる。地層のひずみが後50センチ動くと大海側から崩壊が起きるものと予想できる。集約撤去と市は言っているが、地域の声を待って決めるべき。今ある企業も地域整備の不備により市外に流失しかねないことを懸念する。現長篠橋で問題となった中央構造線のひずみの問題を考慮したうえでもう一つ橋を架ける必要があると考えている。			丸山隆弘	長篠橋
		はじめは国で作ったインフラも、管理が県、そして市に移管される。その上で市の予算では同程度のものを作る事は出来ない。先のカークランド議員の説明でもあったが、管理にかかる予算をどの様に確保するかは国県共に考慮する必要がある。その地域には長篠橋だけでなく寒狭橋もあるが、再来年、メンテナンスの計画が既にある。アスベストを含んだ橋の改修を来年度で終える必要がある為の時期設定であり、橋の改修については市として実施の計画をかなりの規模でそろえてある状況が伺える。			柴田賢治郎	橋の改修
6	東陽小学校の現状を思うと不安に思う。小学校また、こども園の合併と人口減少への対応が出来ているのか伺う。	東郷地区では合併が決まり、動き出しているこども園がある。小学校に対しても今年から全学年が一クラスになって危機感を持っている。	○	①	村田康助	人口減少
		既に再編計画はある。こども園について整備計画は出来ている。令和9年に設計をして22年には解体をするという計画がある。長篠こども園に集約される計画である。学区を超えて、特任以外にも選べる制度作りを検討している。今回の行政視察も義務教育学校として小中一貫学校の設置も研究している。			丸山隆弘	

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			備 考 (キーワード)
			分類	番号	担当	
7	農林業を大切にと言うが、シナリオがあるのか。	鳥獣害対策の昨年の実績はイノシシ1,318頭、鹿3,724頭、愛知県の実績が8千から9千を考えるとほぼ半数をこの地域で賄っている。その反面、実際に携わって頂いている猟師の高年齢化がある。	○	①	丸山隆弘	農林業
		里山を用いて鹿の行動範囲を限定する必要があるが、昨今の開発で人里まで来ることが問題。それにより、鹿も長生きしていて被害の増大する傾向がある。			カークランド陽子	
8	一般質問をする議員、しない議員がいる。それぞれの議員の一般質問に対する姿勢を確認したい。	自分の活動の中で疑義に思うことをそのまま質問させてもらっている。時には市民の疑義をそのままお伝えすることもがあるが、市の説明責任とはそのような疑問に答える事だと思っている。	●	①	柴田賢治郎	一般質問
		周知の場として活用している。市民の方に知って頂きたいことや自分の伝えたい事を広める場としてとらえている。周知の場として活用している。市民の方に知って頂きたいことや自分の伝えたい事を広める場としてとらえている。			竹下修平	
		行政側に対して、地域の問題を答えてもらう場所として活用している。県や国がどの様に動いているかを確認する場所として活用している。			村田康助	
		市民の声を、職員と市の見解とか認識を聞く場所として、特定の事業を確認し市民に伝える場所としてとらえている。			カークランド陽子	
		今、市政としてこういうことが問題になっていると、市民の人にしてもらう告知の場としてとらえている。			小林秀徳	
		議員の仕事として、花形だと思っている。竹下議員の言われたように告知の場として、また議会運営委員長として議論が深まる場として有効に使ってもらえる様に取り計らっている。			丸山隆弘	

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			備 考 (キーワード)
			分類	番号	担当	
9	太陽光発電が地域の景観を変えてしまう。またその勢いがすごく感じる。農地が守られるのか地域が守られるのか。その事への思いがどの様にあるのか伺いたい。またそこで発電された電気は地域に還元されているのか。	土地所有者が業者のビラなどに反応して設置に至ると捉えている。景観が悪だけでなく、中国への資金の流失など問題は多岐にわたる。それを政府が推し進めているのと、農地の活用に困っている方がいるのが原因だと捉えている。	○	①	カーランド陽子	太陽光発電
		ここにいる議員はみな何らかの形で現行の太陽光パネルの設置管理に反対の立場を取られていると思っている。しかし原発の問題で代替エネルギーとして国が推進して以降、農地での開発が無制限になってしまっている。唯一、歯止めがかかっているとするなら、FIT制度により、電力の固定買い上げ価格が下がっていることが新しい開発に対しての歯止めになっていると捉えている。開発会社の実績作りの為だけに推進していく事には問題を発していきたいと思う。			柴田賢治郎	